

杉外壁・加工丸太 ジョイントウォール 施工上の注意

必ず施工前にお読みください。

■施工前に以下の点をご確認ください。

- ・杉外壁・加工丸太・ジョイントウォールは無塗装品のため、外壁にご使用の際には表面などに塗装の処理を必ずお願いします。塗料は木材製品専用で、板の呼吸を妨げない「浸透性保護塗料」をお勧めします。
- ・自然木製品のため、気候、日照条件、立地条件などにより、色の違いが目立つようになることがありますので、あらかじめご了承ください。また、風雨による劣化により同様の現象が起こることがあります。
- ・ご使用前の保管につきましては、直射日光や雨水のかかる場所、および湿気の多い場所を避けて保管してください。

■安全にご使用いただくために

- ・商品を取り扱う際は、トゲなどによるけがの防止、商品の汚れ防止のため、必ず手袋を装着してください。
- ・商品を切断、切削する際は、必ず防塵マスクを装着して作業してください。
- ・木製品は柔らかく破損しやすいので、保管、移動、再梱包の際は慎重な取り扱いをお願いします。

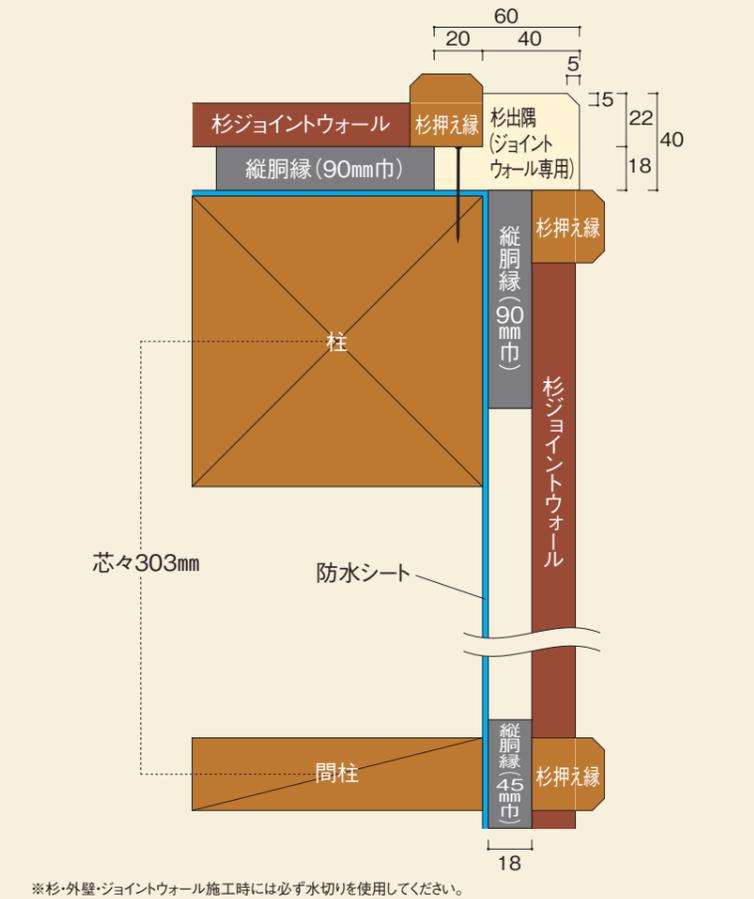
■施工上のお願い

- ①自然木製品のため、一枚一枚色調、木目が異なるので、施工前には必ず仮並べをし、色調をご確認のうえ施工してください。
- ②立地環境に応じ、クリアランス（隙間）を考慮しながら施工してください。
- ③下地施工
 - 防水シート（厚さ0.1mm以上）を必ず使用してください。
 - 水切りを必ず使用してください。基礎などに杉の灰汁が付着し、基礎などを汚す場合があります。また、外壁の上部まで杉板を施工する場合は、同時に中間水切りも使用してください。
 - 杉外壁・加工丸太・ジョイントウォールを横張りする場合
 - ・壁面の最下端を水平に墨出しし、基準線とします。
 - ・基準線から垂直に、303mmの間隔で縦胴縁（18mm×45mm以上）を取り付けます。
 - ・外装材の左右接合部、開口部周囲、出入隅部分の胴縁は、倍の巾（90mm）を使用してください。
 - ・ジョイントウォールは動き巾の170ピッチで割付けの上、施工をお願いします。押え縁使用時は、押え縁に合わせて割付けしてください。
 - 杉外壁・加工丸太を縦張りする場合
 - ・壁面の最下端を水平に墨出しし、基準線とします。
 - ・基準線から平行に、303mmの間隔で横胴縁（18mm×45mm以上）を取り付けます。
 - ・外装材の上下接合部、開口部周囲、出入隅部分の胴縁は、倍の巾（90mm）を使用してください。
 - 胴縁の固定は、長さ50mm以上の平頭スクリュー釘を使用してください。
 - 胴縁は乾燥したものを使用してください。反り、割れ、突き上げなどの原因になります。
 - 外壁リフォームの場合、既存壁内部の胴縁、柱の位置をあらかじめ墨出ししておくことで、新規胴縁の取り付けが効率よく行えます。- ④下地への固定
 - フィニッシュネイル（針釘）は絶対に使用しないでください。
 - 小口に近い箇所は必ず仮穴を施してから釘打ちをしてください。
 - 釘は板厚3倍以上の平頭スクリュー釘を使用してください。
 - 杉外壁・ジョイントウォールにおいては、釘を脳天打ちとしてください。
 - 釘頭が目立つ場合には、塗装色と同系色で塗装してください。
 - 釘を打つ位置は、各商品ページの断面図に記載しておりますので参考にしてください。
 - 接着剤の使用はしないでください。（割れなどの原因になります）

- ⑤無垢商品の場合、現場の湿度の影響を受け伸縮します。伸縮率は材質や木の元口、末口によっても一定ではありません。そのため、施工時には必ず墨出しを行い、上下左右のバランスを確認しながら施工してください。
- ⑥看板やエアコンの室外機など重量物を後から取り付ける場合は、外壁材に直接固定することは避けて、必ず下地に（必要なら補強して）取り付けください。
- ⑦外壁の上部まで杉板を使用される場合、杉の灰汁が外壁の下部などを汚す場合があります。あらかじめご了承のうえ使用してください。（P10「免責事項について」、P17「外装用をご使用前に」を必ずご使用前にお読みください。）中間水切りを使用することで、灰汁の汚染を軽減することが出来ます。

- ⑧裏面塗装（裏表面）は、施工現場の環境や条件に合わせたうえでのご判断をお願い致します。
- ⑨切断時のササクレを防止するため、鉛筆などによる墨付けの後、カッターナイフなどで必ずケビキ処理を行い、ノコ、ノミ入れを行ってください。

杉外壁・ジョイントウォール専用出隅施工図



※杉・外壁・ジョイントウォール施工時には必ず水切りを使用してください。